

令和4事業年度

# 決算報告書

自 令和4年 4月 1日  
至 令和5年 3月 31日

国立大学法人 金沢大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人 金沢大学  
(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	15,439	15,620	181	(注1)
施設整備費補助金	1,487	2,360	873	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	2,044	4,459	2,415	(注3-1、2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	23	23	—	
自己収入	35,630	37,044	1,414	
授業料、入学金及び検定料収入	5,572	5,556	△16	(注4)
附属病院収入	28,775	28,977	202	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	1,283	2,511	1,228	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	7,931	8,017	86	(注7)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	2,077	928	△1,149	(注8)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	294	294	(注9)
引当特定資産取崩	—	—	—	
計	64,631	68,746	4,114	
支出				
業務費	48,774	49,069	295	
教育研究経費	22,501	23,437	936	(注10)
診療経費	26,273	25,632	△641	(注11)
施設整備費	3,587	2,359	△1,228	(注12)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,799	4,117	2,318	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	7,931	5,699	△2,232	(注14)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	2,542	2,538	△4	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	64,631	63,782	△851	
収入-支出	—	4,965	4,965	

※各項目について百万円未満で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、追加配分を決算額に計上したため、予算額に比して決算額が181百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、新規事業に係る補正予算の交付があったこと等により、予算額に比して決算額が873百万円多額となっています。
- (注3-1) 補助金等収入には、授業料等減免費交付金が249百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注3-2) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症対応支援に係る補助金の交付や国等からの補助金事業の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が2,415百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者の減や本学独自奨学制度の拡大等により予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増加及び高額な医薬品の使用等により、予算額に比して決算額が202百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、剰余金を決算額に計上したため、予算額に比して決算額が1,228百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究経費・共同研究経費等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が86百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、施設整備事業等の事業計画が変更となったため、予算額に比して決算額が1,149百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、当初予定していた事項に前中期目標期間繰越積立金を充当したため、予算額に比して294百万円多額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、(注6)に示した剰余金により、キャンパス整備事業を実施したこと等により、予算額に比して決算額が936百万円多額となっています。
- (注11) 診療経費については、(注3-2)に示した新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金の一部が対象となるため、予算額に比して決算額が641百万円少額となっています。
- (注12) 施設整備費については、(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,228百万円少額となっています。
- (注13) 補助金等については、(注3-2)に示した理由(注3-1 授業料等減免費交付金を除く。)により、予算額に比して決算額が2,318百万円多額となっています。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、計画の一部を翌年度以降に実施することとしたこと等により、予算額に比して決算額が2,232百万円少額となっています。
- (注15) 長期借入金償還金については、利率見直しにより支払利息が減少したため、予算額に比して決算額が4百万円少額となっています。